

# よなご データブック

2024

よなごしりつとしょかん へん はっこう  
米子市立図書館／編・発行



よなごって、どんなまちかな？

おいしいもの、すてきなもの、  
いっしょにさがしてみよーで！

よなごしりつとしょかん  
米子市立図書館キャラクター · ねんれい 333 さい

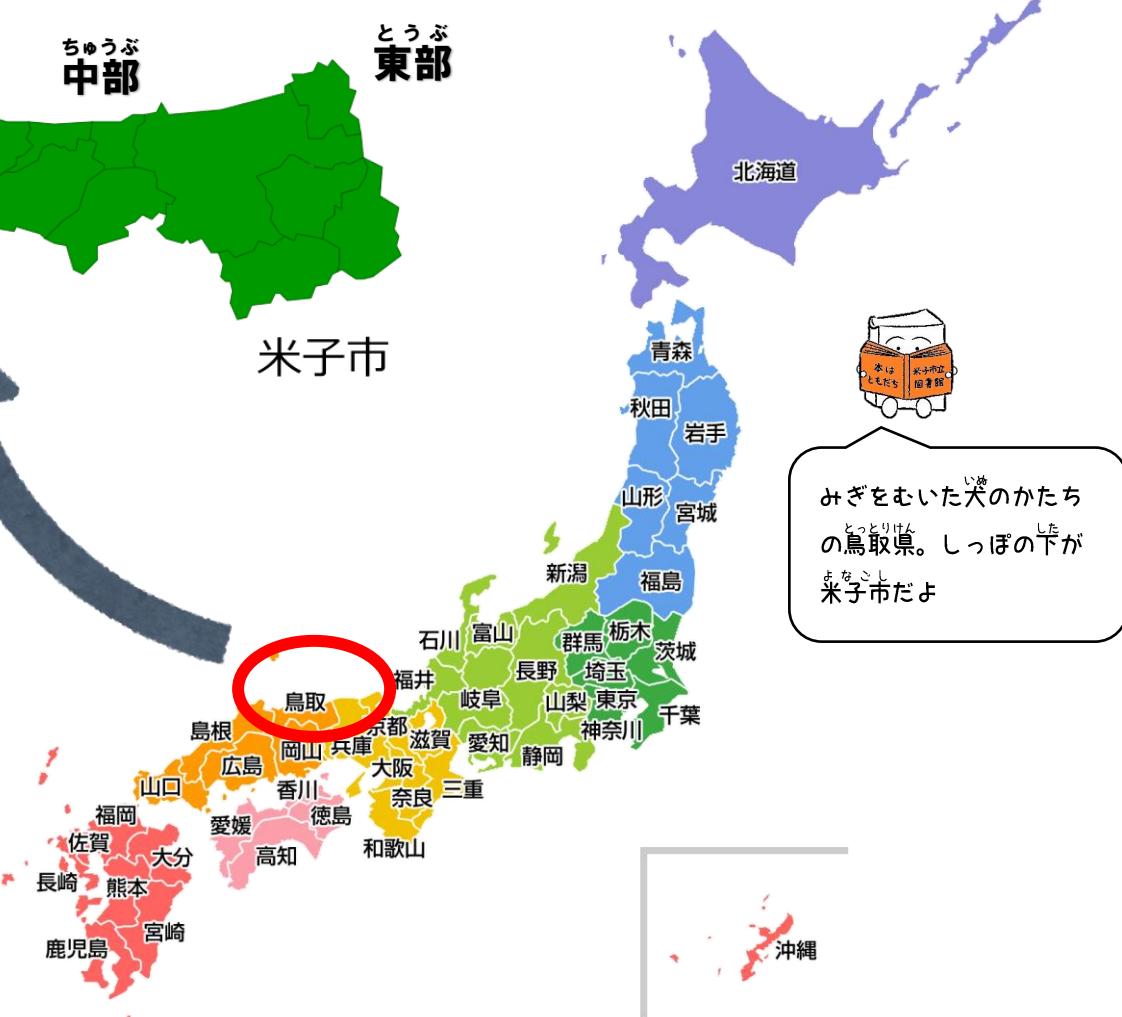
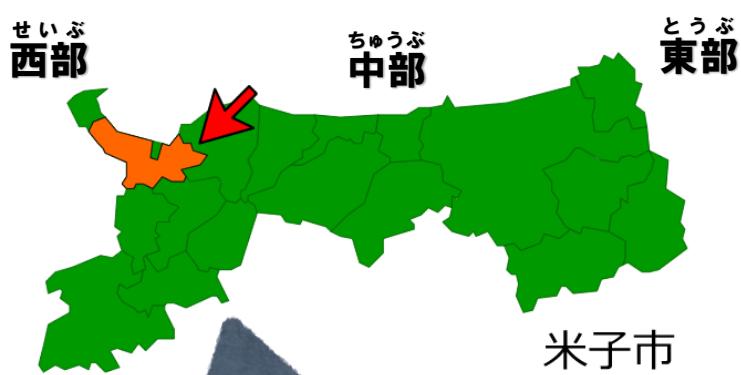
よなぽん

· とくぎ 1日に本を300冊読むことができる

· せいべつ なし

# よなごし 1.米子市って、どんなところ？

米子市は、鳥取県の西部にある市です。



鳥取県と島根県をあわせて山陰とよびます。米子市は、山陰のちょうどまんなかあたりにあります。



## ●米子市の面積

132.42へいほう平方キロメートル



どうきょう  
東京ドーム2823こ  
くらいのひろさだよ！

## ●米子市的人口(すんでいる人のかず)

144,352人

(男性：68,835人 女性：75,517人)

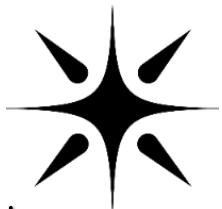
れいわ ねん がつ にちじてん  
令和6年5月31日時点



へいせい ねん  
平成27年には、149,313人すんでいたよ

いまは ふえているかな？ へってるかな？

## ●米子市のマーク



「米」というかん字をもとにデザインされています。

## ●米子市の花



ツツジという花です。2006年にきまりました。毎年5

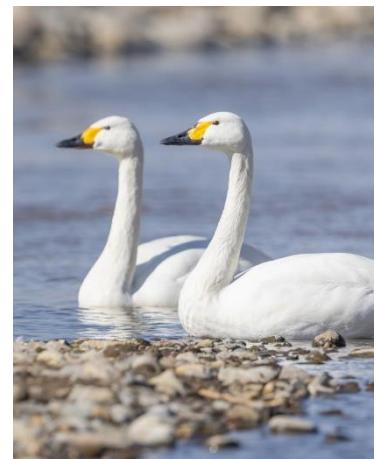
月になると、米子市内に たくさん 花がさきます。

## ●米子市の鳥

米子市の鳥は「コハクチョウ」です。

2006年にきました。米子水鳥公園に

は、毎年冬になると、およそ1000わのコハクチョウがやってきます。



## ●米子市のキャラクター

米子市のキャラクター「ヨネギーズ」



おとうさんの「ネギ太<sup>た</sup>」、おかあさんの「ネギ子<sup>こ</sup>」、子どもの「ネギポ」、ポシェットのどんぐりは「柏木さん<sup>かしわぎ</sup>」といいます。かわいいですね！

## ●米子市は、いつできたの？

いまの米子市は、2005年（平成17年）3月31日に

米子市と淀江町が合併<sup>（ひとつになること）</sup>して生まれました。

最初に米子市ができたのは昭和2年。村や町が合併をくりかえしながら、いまの米子市になりました。

# ●米子市の歌

2015年(平成27年)、米子市と淀江町が合併してから  
10年になることを記念して、「米子市の歌」ができました。  
朝、嵐、夕方の米子市のチャイムでもながれていますね。  
みんなでうたっておぼえよう♪

「米子市の歌」 保岡直樹/作詞 松田恭雄／作曲

(1番)

はるか 大山 湧く 清水

なが ゆだ 流れ豊かに すそ野を拓く

四季の恵みに 感謝して

いのち育む ふるさとよ

みんなで歌おう 心はひとつ

だんだん 米子市 進む町

(3番)

ごらん中海 コハクチョウ

ひろ つばさ広げて みなぎる力

にじ 虹をかけたい おおぞら 大空に

ゆめ 夢が羽ばたく にほんかい 日本海

せかい むす 世界を結んで みらい て 未来を照らす

ぐんぐん米子市 の伸びるまち

(2番)

かた 肩をよせ合い 花も咲く

かおる湯けむり ふれあう笑顔

こだい 古代ロマンが 息づいて

ひかる歴史に はずむ風

かな 奏でる人の和 彩る文化

いきいき米子市 満ちるまち



# ●米子の地名の由来は？

なぜ「米子」っていうのかな？いろいろな言い伝えがありますよ。

- ・賀茂神社のとなりにひっこしてきた長者夫婦が、賀茂神社の井戸水でからだを清め、こどもができますようにといのったら、88さいのときにこどもをさずかりました。八十八は米という字にしているから、米の子とかいて、このあたりの土地を米子とよぶようになったそうです。



- ・このあたりは稻がよく実り、「米生の里」とよばれています。いつしかこれが「米生郷」とよばれるようになり、「米子」になったそうです。



- ・「よな」は砂という意味。「なご」は平という意味。あわせて「米子」になったそうです。

- ・米子という地名は、よなこ、よねこなど、読み方はちがうけど鳥取県だけではなく、ほかの場所にもあります。砂地の土地につけられていることが多いことが、最近の研究でわかっています。



ほかにもまだあ～で！  
しらべてみると、おもしろいか  
も！

## 参考文献

- ・米子市「人口と世帯数」<https://www.city.yonago.lg.jp/9498.htm>
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『米子の民話散歩』(川上 迪彦 // 著 米子市 2002.8)
- ・『「米子」地名考』(岩佐 武彦 // 著 日本国際地図学会 1987)

# よなごし とくさんひん 2.米子市の特産品

## ・白ねぎ

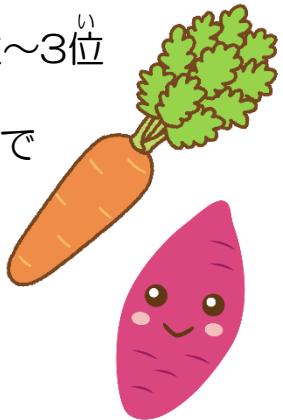


白ねぎは、明治時代から住吉村、彦名村など弓浜半島でたくさん栽培され、売られるようになりました。このあたりは栄養たっぷりの砂地で、中海からとれる海藻を肥料にして、白ねぎが育ちやすい場所でした。鳥取県は西日本でも有名なねぎの産地で、その多くは米子から出荷されています。

### ★米子市の白ねぎの収穫量 (2020年)・・・鳥取県内1位、全国2位~3位



ほかにもにんじん、葉たばこも鳥取県内で収穫量が1位です (2020年データより)。そのほかお米、さつまいも、なし、かきなどもつくられています。



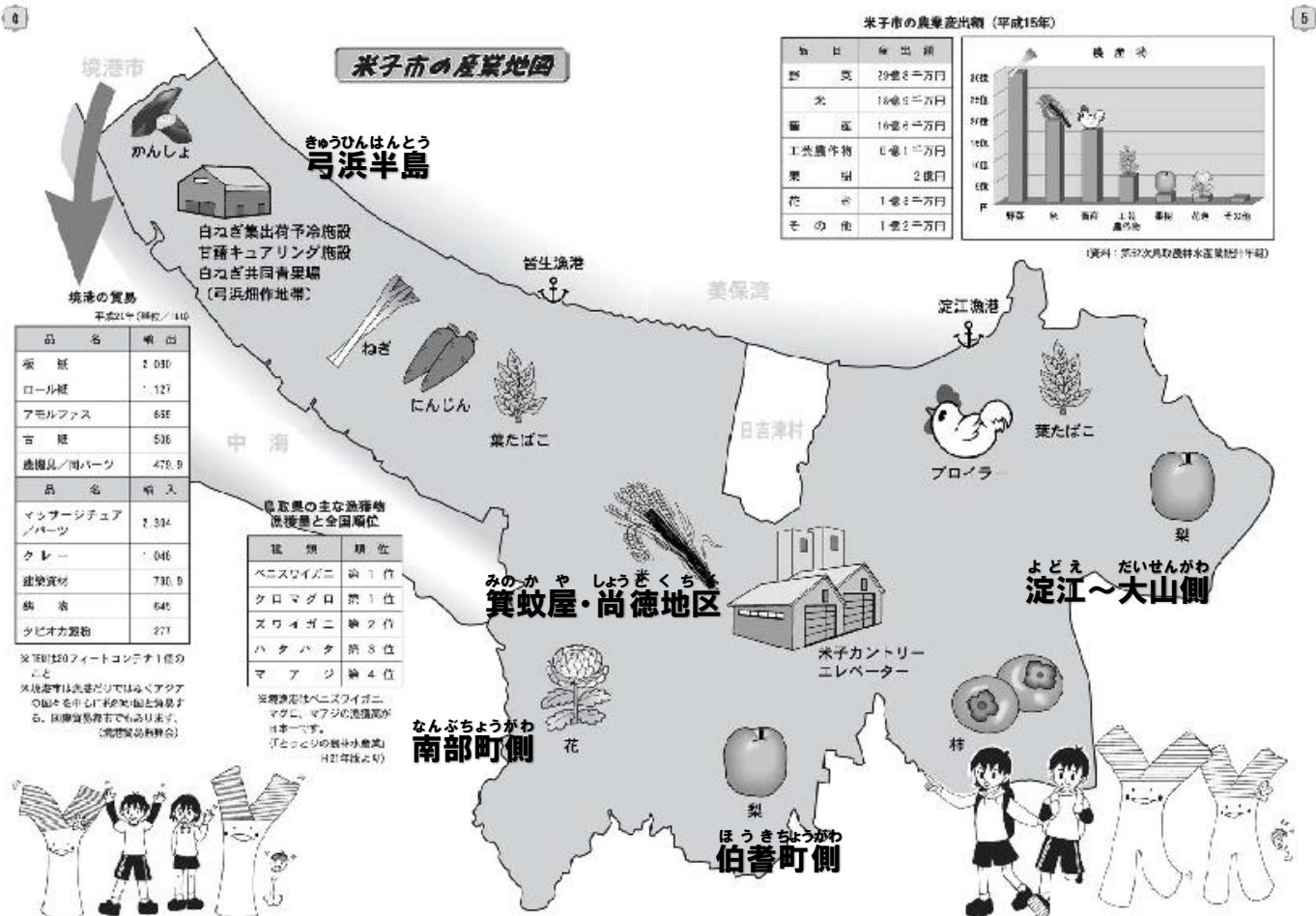
ねぎ、にんじん、さつまいも(かんしょ)、葉たばこは、主に弓浜半島でつくられています。米子のまんなかあたりは、お米がたくさんとれる稻作地帯です。米子の南は山がわで、くだものが多くつくられています。

### 参考文献

- ・農林水産省「市町村の姿」<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/31/202/index.html>
- ・『鳥取県 白ねぎ沿革史』(鳥取県農業共同組合連合会 1997.09)
- ・『ウンパくんと歩く中海散歩』(中海市長会 2012.03)
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・「ふるさと米子探検隊13号」(米子市立図書館 2009.03)

# よなごし さんぎょうち ず 米子市の産業地図

よなごしたんけんたい ごう  
「ふるさと米子探検隊13号より」



よなごし 米子市ではむかしから漁業がさかんにおこなわれていましたが、さいきんでは

りょうし こうれい しげん さかな  
漁師さんが高齢になったり、資源がへったりして、お魚がとれなくなってきていま

す。米子市には皆生漁港、淀江漁港、崎津漁港などがあります。

●米子市の漁獲量 (平成30年海面漁業生産統計調査)

さわら類 139トン

あじ類 121トン

貝類 74トン



## ・弓浜紺

弓浜紺は、米子市の弓浜半島から境港市にかけてつくられている古くからある  
織物です。伯州綿というじょうぶで、やさしいさわりごこちの素材でつくられています。  
大山や鶴、亀など、めでたい絵柄がとくちょうです。

## ・淀江傘

淀江傘は、江戸時代に倉吉からきた職人によって作られた  
のがはじまりといわれています。とてもじょうぶで、うつく  
しい和傘です。できあがった傘を砂浜に干す風景は、淀江の  
風物詩だったそうです。戦後、傘が足りなくなると、淀江傘  
は一年間に 50万本も作られたそうです。やがてみんなが洋傘をもつようになり、  
淀江傘はだんだん作られなくなりました。いまは「淀江傘伝承の会」のみなさんが、  
淀江傘の伝統を守って作っています。



### 参考文献

- 『ウンパくんと歩く中海散歩』(中海市長会 2012. 03)
- ・「よなごキッズページ」 <https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・「ふるさと米子探検隊 13 号」(米子市立図書館 2009. 03)



# よなごし 3.米子市のここがすごい！

しぜん  
**自然**

## よなご ・米子からみえる大山

だいせん ちゅうごくちほう たか やま  
大山は中国地方でいちばん高い山で、1729メート



よなごしない ぱしょ だいせん  
ルあります。米子市内のいろいろな場所から、うつくしい大山をみることができます。かくどによって、さまざまなかたちにかわる大山は、どのすがたもとてもうつくしいです。みる場所によっては、富士山のかたちににていることから、「伯耆富士」とよばれています。

なかうみ  
**中海**

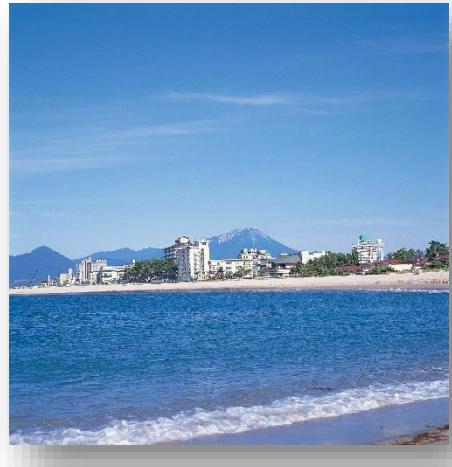
なかうみ とっとりけん しまねけん みずうみ にほん  
中海は鳥取県と島根県にまたがる湖で、日本で5番目に大きな湖です。汽水湖としては2番目の大きさ



きすいこ かいすい たんすい みずうみ  
だそうです。すごいですね！汽水湖とは、海水と淡水がまざりあった湖のことです。海とつながっている中海には、海と湖のりょうほうの生きものがすんでいます。そのほうふな生きものをえさに鳥もたくさんやってきます。1995年(平成7年)には米子水鳥公園ができて、コハクチョウやマガノなど水鳥の生活する場所をまもっています。2005年(平成17年)には、水鳥の生息地として、国際的に重要な湿地帯にみとめられ、ラムサール条約に登録されました。

## かい けおんせん ・皆生温泉

およそ 100年まえに、漁師さんが海でみつけた温泉です。塩をたっぷりふくんだ温泉は、体をぽかぽかあたためて、ひふの病気や神経痛などにも効果があるとされています。夏になると海水浴場ができて、多くの人々でぎわいます。海水浴場と温泉がいっしょに楽しめる場所は、日本ではとてもめずらしいですよ！



## ・おいしい水

大山が近い米子市の淀江には、「天の真名井」「本宮の泉」とよばれる、きれいな水がわきる場所があります。天の真名井には水車があり、ニジマスがよいっています。とてもうつくしい風景です。本宮の泉は1日に30000トンもの水がわきでるそうです。夏はホタルをみることができます。



## ・水道水もおいしい！

米子市の水道水は、大山や日野川のゆたかな自然に育まれた地下水を水源としているため、ミネラルをふくんでいて、とてもおいしいです。2024年2月には、「水道水が美味しいと感じる都道府県ランキング」(パナソニック調べ)で、鳥取県が第1位になり、おいしい米子の水が話題になりました！



# おまつり

## ・米子桜まつり

みなどやまこうえん 湊山公園にはおよそ450本の桜の木があります。春にな

ると屋台もたくさんでて、お花見の客でにぎわいます。



## ・日吉神社よいとまかせ

よどえ 淀江にある日吉神社の、350年以上続く伝統あるおまつりです。「えんよいやな、えんよいとまかせ、さささ、さーよいとまかせ」というかけ声をしながら歩くので、「よいとまかせ」とよばれています。

## ・全日本トライアスロン皆生大会

すいえい 水泳（スイム）、じてんしゃ 自転車（バイク）、ランニング（ラン）

の3種目をするスポーツです。1981年（昭和56年）

かいけおんせん にほんはつ に、皆生温泉で日本初のトライアスロンが開催されました。

まいとし がつ かいさい した。毎年7月に開催され、ぜんこく 全国からたくさんの選手が

よなご 米子にやってきます。



かいけかいがん 皆生海岸スイムスタートのようす！がんばれ～！

## ・米子がいな祭り

「がいな」とは、よなご方言で「おおきい」「たくさん」という意味です。米

子の人たちが「自分たちで新しい形の創作祭りをつくろう！」と、1974年

（昭和49年）に第1回米子がいな祭りが始まりました。がいな太鼓や、が

いな音頭もこのお祭りで誕生しました。



## ・がいな太鼓

第1回米子がいな祭りでは、「全国有名太鼓競演」というイベントがあ



りました。これを見た米子の若者たちは、「米子がいな太鼓」を創ろうと

立ち上りました。たくさん練習をして、第2回米子がいな祭りで演奏

しました。その後メンバーが足りなくなり、練習場所にもこまり、続けることが難

しくなりましたが、せっかくできた米子の新しい伝統を守ろうと、地域の人々に支

えられて、「米子がいな太鼓保存会」ができました。がいな太鼓の演奏は「米子流」

と呼ばれ、今ではがいな祭りだけでなく、国内外の様々な場所でも披露され、すばら

しい音を世界に響かせています。

## ・加茂川まつり

米子市内を流れる加茂川沿いには、たくさんのお地蔵さまがいます。この



お地蔵さまに子どもたちが元気ですごすことができるよう、川の水がき

れいになるようにおいのりするおまつりです。1984年（昭和59年）8月からはじ

まりました。スタンプラリーやキャンドルナイトを楽しみます。

## ・皆生・大山SEA TO SUMMIT

皆生の海でカヤックに乗り、自転車をこいで大山へ行き、大山登山をして大山の

頂上をめざすスポーツイベントです。スポーツをしながら、自然のゆたかさ、たい

せつさを学びます。日本で最初にSEA TO SUMMITがおこなわれた

のは、2009年9月の皆生・大山大会だそうです。今では全国

各地でおこなわれています。



トライアスロン、SEA TO SUMMIT、みんな  
米子から誕生したんだね！すごいなぁ！

## 参考文献

- ・『米子がいな祭 25 周年記念誌』(米子がいな祭振興会 1999. 4)
- ・『加茂川まつり 35 年のあゆみ』(加茂川まつり実行委員会 2019)
- ・『ウンパくんと歩く中海散歩』(中海市長会 2012)
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集（小学校 5 年生～中学校用）』(米子市教育委員会 2015)

# よなごし 米子市のすごいところに行ってみよ～で！

## よなごじょうあと ・米子城跡

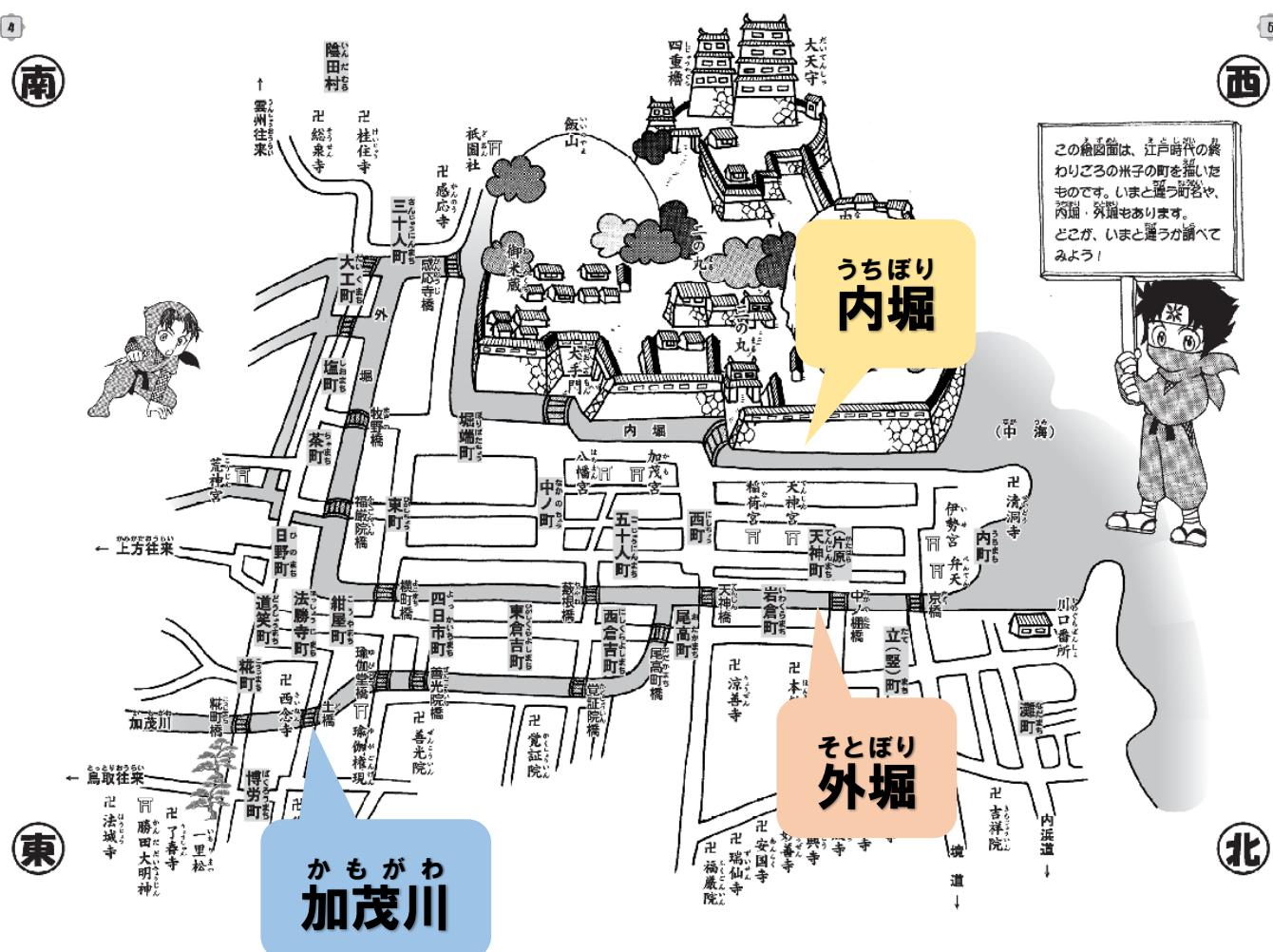


よなごし ちゅうしんち みなとやま たか やま よなご  
米子市の中心地に、湊山という高さおよそ 90 メートルの山があります。米子の  
ひと みなどやま しろやま した やま よなご  
人々は、湊山のことを「城山」とよび、親しんでいます。この山には、かつて「米子  
じょうじょう しろ しろ やま みなどやま  
城」とよばれる城がたっていました。いまは城はのこっていませんが、湊山の  
ちょうじょう しろ しろ やま ちようじょう  
頂上には城をさえていた「石がき」がまだのこっています。頂上からはうつく  
しい大山や中海をながめることができます。2022 年のお正月には、  
だいせん なかうみ  
エヌエイチケー ばんぐみ  
NHK の番組でそのうつくしい  
けしき にほんさいきょう しろ  
景色から「日本最強の城」にえらば  
よなごじょうあと ぜんこく ゆうめい  
れ、米子城跡は全国でも有名になりました。2006 年（平成 18 年）には、  
ねん へいせい ねん  
ほんまる に まる くにしていしせき  
本丸、二の丸などが国指定史跡とな  
ねん れいわ ねん さん まる いちぶ みなどやまきゅうじょうあと くにしていしせき ついか  
り、2021 年（令和 3 年）には三の丸の一部（湊山球場跡）も国指定史跡に追加さ  
れました。

米子城写真

# かもがわ ・加茂川のまわり

米子城のまわりには、かつて城を守るために、内堀と外堀がつくられ、水がながれていました。米子のまちは商人のまちとして栄えていましたので、外堀は、商店のにもつをはこぶための水路としても利用されました。加茂川も、水路として利用されました。今では米子城も堀もなくなりましたが、灘町、岩倉町、尾高町、東倉吉町などのあたりには加茂川沿いに倉や石の階段がのこっていて、ふるい町並をみたり、遊覧船に乗ったりすることができます。また、加茂川のまわりにはたくさんの橋とお地蔵様があります。米子の観光名所のひとつです。



・『ふるさと米子探検隊第2号米子城入門の巻』(米子市立図書館/編刊 2005.2) より抜粋

## ・妻木晩田遺跡



米子市と大山町のあいだにある、弥生時代の村のあとです。

とても大きな村のあとで、全国でも有名な遺跡です。たてものあとや、おはかがみつかっています。いまは公園になっていて、弥生時代の生活を体験したり、復元されたたてものや展示を見たりすることができます。

## ・福市遺跡

弥生時代から古墳時代にかけての村のあとです。

たてものあとや、おはか、道具などがたくさん見つかっています。



福市考古資料館

<http://www.yonagobunka.net/kouko/> より

## ・上淀白鳳の丘展示館・上淀廃寺跡

淀江に683年にたてられたとされる、古いお寺のあとです。

土の中から仏さまのかかれたかべや、仏像のかけらが見つかっていて、全国で有名になりました。上淀白鳳の丘展示館で

は、上淀廃寺の仏像3体を復元したものを展示しています。ま



上淀白鳳の丘展示館

<http://www.yonagobunka.net/hakuhounooka/exhibition/facility/>

より

た、ちかくの天神垣神社の倉庫には、日本に2体しかな

いという貴重な石馬が保存されています。展示館の向かい

には古代伯耆の丘公園があり、帆立貝式古墳、向山古墳群

というたくさんの古墳をめぐることができます。



帆立貝式古墳

# よなごしりつさんいんれきしかん ・米子市立山陰歴史館

1930(昭和5)年、米子市役所として建築された3階建

ての建物です。1984(昭和59)年より山陰歴史館とな

りました。米子城の資料や、なつかしの生活道具などを

展示するほか、様々な山陰の歴史を伝える展示が行わ

れています。



山陰歴史館

<http://www.yonagobunka.net/rekishi/>より

## おだかじょうあと ・尾高城跡

米子市尾高にある戦国時代の城あとです。「泉山

城」ともよばれています。標高約40メートルの

丘の上にあり、うつくしい大山をうしろに、米子の

町を見わたすことができます。米子城ができるまで

尾高城図

は、この尾高城がとても重要な場所でした。南北約400メートル、東西約300メ

ートルというとても広い場所に、人が住んでいた館のあとや、門のあとなどが今も

のこっています。戦国時代のお城は「土の城」とよばれ、石がきがないのが特徴で

すが、尾高城は最近の発掘調査でなんと石がきのあとが発見されました。「土の城」

から「石の城」へうつり変わる様子を見ることができる、大変貴重な発見です。2023

年に国の史跡に指定されました。

- ・『米子のふるさと散歩』(米子錦ライオンズクラブ/発行 2012)
- ・『市民が選んだ米子の宝88』(よなごの宝88選実行委員会/発行 2010)
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『海を臨む天空の城 国指定史跡米子城跡』(米子市教育委員会/発行 2016)
- ・『国指定史跡 尾高城跡』(米子市 2023)

## 参考文献

- ・「よなごキッズページ」 <https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・米子市 <https://www.city.yonago.lg.jp/>
- ・『米子の民話散歩』(川上 疎彦//著 米子市 2002.08)
- ・『「米子」地名考(抜刷)』(岩佐 武彦//著 日本国際地図学会 1987)
- ・農林水産省「市町村の姿」<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/31/202/index.html>
- ・『鳥取県 白ねぎ沿革史』(鳥取県農業共同組合連合会 1997.09)
- ・『ウンパくんと歩く中海散歩』(中海市長会 2012.03)
- ・「ふるさと米子探検隊13号 米子の産業入門編の巻」(米子市立図書館/編刊 2009.03)
- ・『米子がいな祭25周年記念誌』(米子がいな祭振興会 1999.04)
- ・『加茂川まつり 35年のあゆみ』(加茂川まつり実行委員会 2019)
- ・『米子のふるさと散歩』(米子錦ライオンズクラブ/発行 2012)
- ・『市民が選んだ米子の宝88 第3版』(よなごの宝88選実行委員会/発行 2012.03)
- ・『海を臨む天空の城 国指定史跡米子城跡』(米子市教育委員会 2016)
- ・「ふるさと米子探検隊19号 皆生温泉今とむかしの巻」(米子市立図書館/編刊 2017.3)
- ・「ふるさと米子探検隊2号 米子城入門の巻」(米子市立図書館/編刊 2005.2)
- ・一般財団法人米子市文化財団 <http://www.yonagobunka.net/>
- ・『ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集(小学校5年生~中学校用)』(米子市教育委員会 2015)
- ・『国指定史跡 尾高城跡』(米子市 2023)

